

第1回 河内長野市子ども・子育て会議

会議録

日 時	平成30年12月18日（火） 午前10時00分～12時00分
場 所	河内長野市役所 8階801会議室（西）
出席者	会長 農野 寛治 会長代理 渡辺 俊太郎 委 員 尾上 誠人 ・ 横田 朋子 ・ 安本 悦章 ・ 千田 利勝 ・ 山本 淑子 ・ 濱場 理華 ・ 北野 良和 ・ 家曾 美里（欠席） ・ 浦田 盾子 ・ 増永 友香 ・
事務局	子ども子育て課
会議の公開	公 開
傍聴者数	0名

1 会議次第

1. 開会

2. 議事

①河内長野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の報告について

②河内長野市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定のためのアンケートについて

③その他

3. 閉会

2 審議経過

<開会>

1. 開会

(新委員委嘱状の交付)

(子ども未来部長あいさつ)

2. 議事

①河内長野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の報告について

(事務局より資料説明)

農野会長：進捗状況についてご説明いただきましたが、何かご質問・ご意見はございますか。

ご意見ないようですが、渡辺会長代理どうですか。

渡辺会長代理：0歳から2歳の保育のニーズが多いということですが、どのような対応を考えておられますか。

事務局：出生数が減少しているので、新たな施設ではなく既存の施設の建て替え等により利用定員を増加いただき、市として補助したり、幼稚園から認定こども園に移行した施設に0歳から2歳の受入れ依頼など、定員拡充の努力をしております。0歳児については、今年度から0歳児保育の促進を目的とした、乳児保育促進事業費補助を新たに策定いたしました。

農野会長：0歳から2歳の保育園等の利用率はどの市町村も増加しており、来年の保育料の無償化で更にどれだけ増加するか、この部分はコントロールが難しいと思います。放課後児童健全育成事業（以下「学童」という）の利用率も保育施設の利用率が上がるにしたがって増加しているのでどれくらいを想定するか難しいと思います。また、国は平成26年に学童の基準を定めたが撤廃の予定をしております。現在、1,033人に対して31か所なので、平均33人ぐらいとなり、かつての国の基準1か所当たり40人以内に収まっておりますが、今後増加していくと31か所で良いのか検討していく必要があるかと思います。ファミリー・サポート・センター（以下「ファミサポ」という）は延べ500人ぐらいの利用者数だが、どこも提供会員の確保ができないという課題があり、子育てが一段落した方やお孫さんの面倒をみている祖父母の方など、どれだけ会員を掘り起こせるか保育利用率の増加とうまく

バランスをとっていければと思います。

尾上委員：学童は枠を超えて受入していると思いますが、近隣の市町村では定員を設けているところもあるようですので、維持していただければ。

事務局：河内長野市も条例で定員40名と定めております。

農野会長：実際に来られるのは40名以内だが、登録人数が多くギャップが生じているところもあります。

事務局：河内長野市では登録人数40名を定員としております。

山本委員：小学校は13校しかないが、31カ所はどのような場所で実施しているのでしょうか。

事務局：校庭の中に学童の施設を設けたり、空き教室や一部隣接した場所で実施しており、1クラス1カ所としております。

千田委員：少子化に歯止めをかけるために何か特効薬のようなものはありますか。行政の財政状況もあると思うが、それに釣られるだけでなく安心して子育てができるように何か対策をしていただけたらと思います。

農野会長：利用者支援事業について、あいっく千代田台で実施されていますが、どんな情報を求められてきているのか、どんな相談が寄せられているのか貴重な情報になると思いますので、分析などしていただければと思います。

増永委員：子どもが認定こども園に通っており、先生方とお話する中で、早朝・夕方でも園児が1人いれば役職のある先生を含めずに必ず2名先生がいないと伺っており、シフト制なので、認定こども園に行っても担任の先生がいないことがあります。園としても担任の先生をシフトに入れるのは難しく、また担任以外の先生で回せるかというのも人員の確保が困難という現状があるようです。新しい施設を建てるのが難しいということであれば、人員の確保や人員に対しての支援は検討されているのでしょうか。

事務局：幼稚園教諭や保育士は人手不足となっており、賃金改善などで他の職業との賃金格差を埋める国の制度があるが、格差を埋めきれていないとは思っていますので、何か補助できる体制を検討しております。待機児童がある中で、定員を増やしても職員も増やさないといけないので、少しずつ対応していきたいと思っております。河内長野市で安心して子育てできるということを発信できるようにしていきたいと思っております。

農野会長：大阪府では奨学金や支度金などがあります。保育士になりたい人はいるが、一般

企業の初任給と比べるとやはり少し給料が少ない。子どもに関わりたい若い人はいるので、それぞれの施設が福利厚生などを向上させ、魅力のある職場であるということをPRし、リクルートできるかということになるかと思います。これをきっかけに良い環境の施設が増えていただければと思います。

横田委員：幼稚園から認定こども園に移行した場合、担任がシフトに入らないといけなくなり、今まで土曜日が休みであったが休みでなくなり、早朝からの勤務だと夕方には退勤するので、保護者からの問い合わせに担任は帰ったと対応することになり困っております。保育園でも大変なので、幼稚園から認定こども園に移行した施設だと更に大変かと思います。

増永委員：運動会などの後、代休があるが、保育認定こどもは代休にならないので、先生も子を持つ保護者であるのに仕事は休みにならないので、大変だなと思います。

横田委員：給料は賃金改善で増えているので、職員数が欲しいのが現状です。

山本委員：ファミサポの提供会員をしているので、保育所に迎えに行くことがあるが、先生が少ないと思います。どの施設も定員を超えて受入されていると思いますが、園ではどう対応されているのかなと思います。特に0歳と1歳は大変だと思います。

横田委員：トラブルが多い年齢でもあります。先生に残業するのと働き方改革とどっちが良いか聞いたところ子どものために残業すると言ってくれておりますので、それで対応しております。

農野会長：提供会員が保育園などにお迎えに行く際に数時間保育に入るような制度など教育・保育施設の保育士不足を支える仕組みを考える必要があるのかと思います。

②河内長野市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定のためのアンケートについて （事務局より資料説明）

農野会長：ご質問・ご意見はございますか。

千田委員：0歳から5歳の保護者アンケートのP. 1問7の「近所」とはどこまででしょうか。

事務局：わかりにくいと思いますので、市内などに変更するか検討します。

農野会長：保育を要する児童と判断するのに祖父母が徒歩何分以内だと減点とかがある市町村もあります。アンケートは無記名ですので、あまり気にしすぎなくても良いのかなと思います。

千田委員：P. 17問33の「遊び場」とはどのような場所ですか。また公園が危険と思う

など防犯上のことや学校が開いていれば安心して遊ばせることができるなどの項目もあればと思います。

農野会長：遊び場という問いかけですので、特定の場所を指すものではないかと思います。

0歳から5歳の子どもなので親と一緒に遊びに行くことがほとんどかと。商業施設内にも遊び場を設けておられるところもございますが、河内長野市内ではどのような場所に親が集っているのでしょうか。

山本委員：河内長野市ではあいつくですね。

農野会長：小学1年生から4年生の保護者アンケートで同様のものがP. 11にございますが、こちらの方が興味ありますね。小学生の子ども同士で遊んでいるような公園や場所とかはあるのでしょうか。

事務局：公園は多いが、高齢者が利用されるところはボール遊びが禁止になっていたりして、保護者の方からはボール遊びができるように要望があったりします。

農野会長：八尾市が数年前から子どもの夢をかなえる事業を行っており、提案を募集し、採用されたら実行しています。小学生の子ども達の意見では体を動かしたいというのが多いですね。

千田委員：子どもが安全でおもいきり遊べる場所がたくさんあれば河内長野市に住んでみようかと思えるのではないかと思います。孫と公園で遊ぶことが多いが、近くの公園では遊具はあるが草が茂っているなど整備されていない部分があったりします。

増永委員：公園の数はあるが死角になっているところが多いとも思います。保護者として子どもだけで遊びに行かせる不安があります。周りからも見える死角のない広い公園が保護者としての希望です。

渡辺会長代理：小学生の保護者アンケートのP. 5問13-3で「1つだけ」としているが、2つとかあるかもしれないので、「主な」としていただいたら回答しやすいかと思っています。

事務局：そのように対応いたします。

尾上委員：0歳から5歳の保護者アンケートのP. 12問22（2）の小学4年生から6年生の部分の点線が抜けていると思います。

事務局：記載いたします。

農野会長：無償化の間17-5で国の項目には含まれていると思いますが、選択肢の中に河内長野市内にない施設も含めるべきなのではないでしょうか。

事務局：他市町村の施設を利用したい場合もございますが、含める必要があるか精査して

いきたいと思います。

農野会長：河内長野市では認可外保育施設はないということですが、認可外保育施設を無償化の対象とするのであれば教育・保育内容が基準通りにしているかどうか示したものを作成してほしいなど他市では声があります。

事務局：河内長野市内にも認可外保育施設はあり、立入検査を実施しています。広域福祉課が担当部署となっております。届出の状況を把握した上で問17の選択肢を精査していきたいと思います。

千田委員：シルバー人材センターが実施しているものはどこに該当しますか。

事務局：9番の「その他の認可外の保育施設」に該当します。

安本委員：無償化について、4月からの認定こども園の募集要項は出しているが、後から給食費は徴収するようになど話が出てきているが本当に無償化になるのでしょうか。国に早く決着するよう都道府県や市町村から言ってもらえないだろうか。こちらとしては早く決着していただきたいと思っています。

事務局：市からも要望等は伝えています。予算確定時には決着しているのではないかと思っておりますので、わかり次第お知らせさせていただきます。

横田委員：守口市、大阪市は早くから無償化しているので実費を徴収すると値上げになると保育園などから反対の声がありますが。

事務局：国として無償化になると市負担分が減るのでそのようなことにはならないのではないかと思います。

農野会長：他にご意見はございますか。なければその他に進みたいと思います。

③その他

事務局：2年ほど前に大阪府が実施した子どもの生活に関する実態調査を市でも1月下旬から2月ぐらいに小学5年生と中学2年生とその保護者の方を対象に実施を考えております。できれば調査結果を次の計画の中に反映し、子どもの貧困対策に関する項目を増やすことを検討しております。調査結果が出ましたら、今回のアンケートの報告と併せて、子育て会議でご報告できればと思っています。

農野会長：市町村をベースとして若者支援を見守るような仕組みを作っていく中で、中学生が調査対象に含まれているのは良いことだと思います。元々は子どもの貧困対策がベースとなっております。若い人達もいろんな課題があると思いますし、市町村をベースに調査していただいたり、子どもや保護者の声も踏まえながら体制を整えて

いただければと思います。

山本委員：地域で南花台のコノミヤの上で自分の家では預かれないが、場所があれば預かってあげるといってお母さん方がおられたので、子どもを預かる拠点づくりをしました。提供会員を募ってしているが、私費でしております。商業施設が協力的で今度空き部屋を無償で貸していただけることになったので、小学生や高齢者も集えるような場所にできればと思っています。あいつくの小型版のようなものにしたいと思っていますので、継続するための補助金などを検討いただければ。

農野会長：子どもを見守る受け皿を作っておられることは大事なことだと思います。地域の方にとって集いの場というのは、いろんな方が利用されると良いと思いますので、そのような場所がもっと増えればと思います。大阪で地震があったときに小学校低学年の子どもを家に置いたまま保護者の方が仕事に出かけなければならないという事案もありましたので、ある時に子どもをしっかりと預かってもらえる場も必要なのかなと思います。

他にございますか。

渡辺会長代理：幼稚園・認定こども園・保育園の職員や関係者など子育て支援に携わっている方のヒアリングやアンケートの計画とかはございますか。保護者の感じていることや地域のニーズなどを直接感じておられると思いますので貴重な意見を聞けるのではないかと思います。

事務局：現在はないですが、今後検討していきます。

千田委員：子育て支援をしている側の方々の会議などはございますか。

事務局：あいつくの中で各地域で支援されている方の交流会はございます。

農野会長：他にご意見はございますか。

事務局：(今後のスケジュール等について説明)

<閉会>